

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立平野区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市平野区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	91.2%
達成率	107.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	27,246	23,668	3,578

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	21,570,000	20,804,991	0	-
	計画	21,570,000	20,270,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	-
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	25,249	17,060	25,249	-
	計画	0	0		
合計	実績	21,595,249	20,822,051	25,249	-
	計画	21,570,000	20,270,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	15,083,764	14,748,110	183,764	-
	計画	14,900,000	14,900,000		
物件費	実績	5,725,267	6,093,141	-944,733	一昨年に比べ電気ガスの単価の低下のため減。
	計画	6,670,000	5,370,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	-
	計画	0	0		
合計	実績	20,809,031	20,841,251	-760,969	-
	計画	21,570,000	20,270,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	107.0%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・再生紙の利用及び省エネのため部屋の細分化。	B	部屋の細分化による省エネ活動などを行い、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防署立会のもと消防避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、入口での手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により中止していた、民謡同好会を主体とする「ひらりん盆踊り大会」や全同好会及び一般区民から出演を募り発表会を行う「ひらりん文化祭」の実施など、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・区役所や障がい者施設と連携し、講座の開催や区内の連絡会議に参加し情報収集を行うなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙の使用など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2) 回答者351人（未記入者含む）
(3) 質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4) 結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が91.2%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1. 昨年の意見をふまえ、センターだよりは、読みやすく改善されていた点が評価できる。
2. 事業報告書への記載方法として、PDCAのP(計画)は具体的項目を掲げ、D(実施内容)は客観的事実・参加実数を項目毎記載し、C(成果と結果)のところで人数や前年度との対比、その分析による見えた課題をまとめ、その結果をA(改善)のところに改善点をまとめ、次年度計画に反映する。もう少しわかりやすい表現で記載していただきたい。
3. 障がい者施設との連携等、他関係機関との連携は、評価できるので今後も継続して取り組んでいただきたい。
4. 利用者が主体的に取り組むことができる、企画部は男性にこだわらず、もっと発展させていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施するなか、人気の高い体操系の講座については当初開催計画数を上回る回数開催し、サテライト講座についても積極的に開催を行っている。その他の講座についても、様々な方のニーズをキャッチし、幅広い方々に利用いただけるよう講座の内容についても工夫されている。 利用者アンケートでも本市の目標を4.2%も上回っており、職員への対応についての満足度も非常に高く、職員の人材育成や創意工夫されている様子がうかがえる。
市費の縮減	B	省エネのため、室内に間仕切りを行うなど細分化し、消耗品費についても再生紙の使用を徹底するなど、経費削減に努めている。
管理運営の履行状況	B+	・基本協定書に基づく施設の維持管理を実施しており、施設の状況を把握して修繕を行い、利用者にとって快適な環境整備を行っている。 ・昨年度外部専門家からの指摘及び所見のあった、センターだよりについて改善を行っている。 ・関係機関と連携し、子どもや障がい者との交流に力を入れていることは評価できる。 ・個人情報の保護や情報公開について、適切に取り組みを行い、社会的責任を果たしている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・施設の設置目的や、地域のセーフティネットとしての役割を理解して運営できており、求められていることを日々意識し、適宜、改善されていることについては、非常に評価できる。 ・今後は一歩進んだ、利用者が主体的に取り組めるような講座づくりを意識し、より発展させてほしいと考える。 ・本市が期待する管理運営を行った。